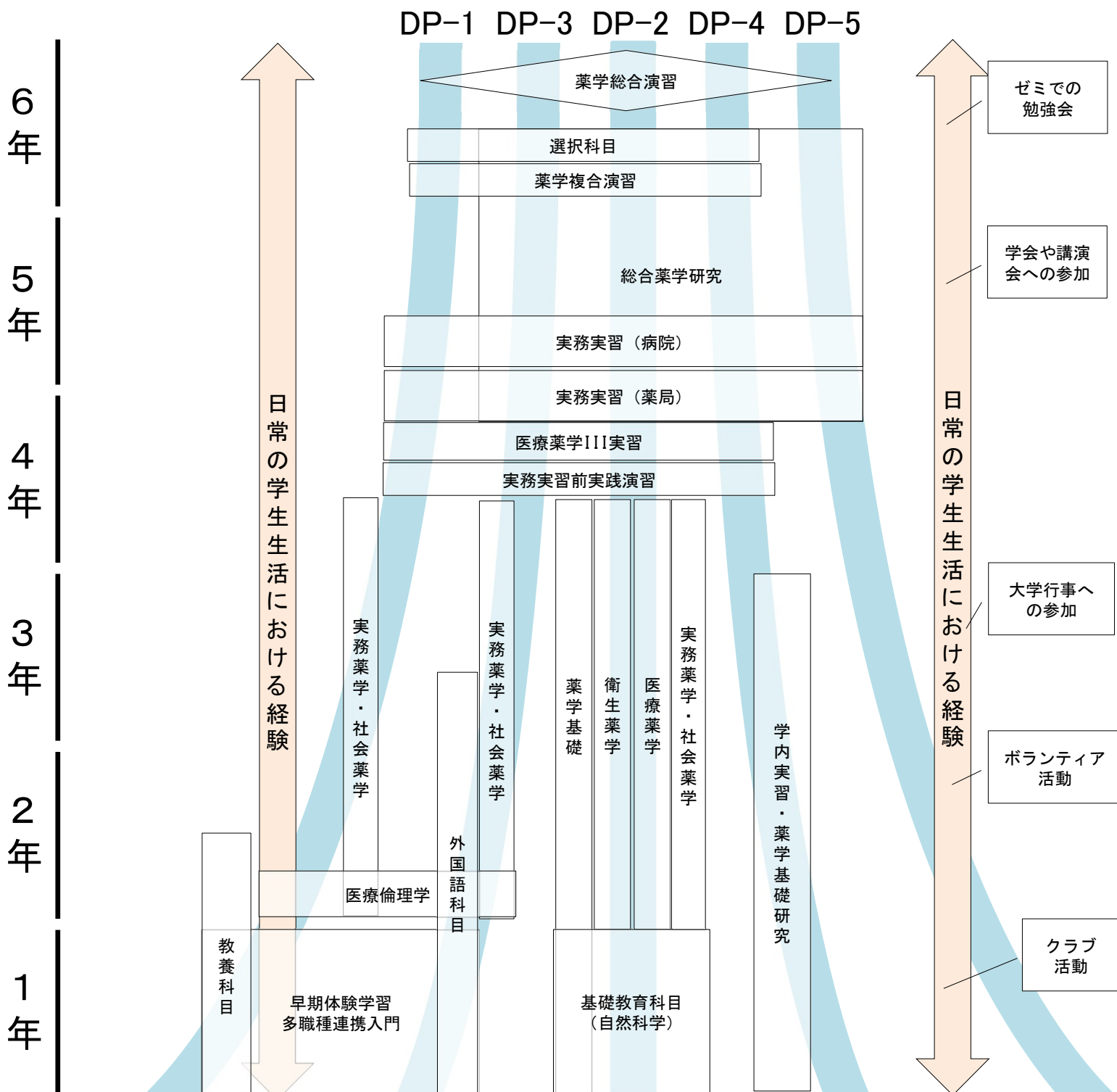


北海道医療大学薬学部カリキュラムツリー（令和7年度第1,2学年対応）

北海道医療大学薬学部のディプロマポリシー（DP；学位授与の方針）と、6年間を通して学ぶ科目群との大まかな関連性を示しています。科目ごとの関連するDPについてはシラバスを参照してください。

- DP-1 医療人として求められる高い**倫理観**を持ち、**法令を理解**し、他者を思いやる**豊かな人間性**を有する。
 DP-2 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、**基礎から応用までの薬学的知識を修得**している。
 DP-3 多職種が連携する**医療チームに積極的に参画**し、**地域的**および**国際的視野**を持つ薬剤師としてふさわしい**情報収集・評価・提供能力**を有する。
 DP-4 卒業研究や実務実習等を通じて、医療の進歩に**対応できる柔軟性**、**高度先端技術の理解と活用**、ならびに臨床における**問題点を発見・解決する能力**を有する。
 DP-5 **後進の育成**に努め、かつ**生涯にわたって常に学び続ける**姿勢と意欲を有する。



薬剤師に求められる10の資質と、北海道医療大学薬学部ディプロマポリシー(DP)との関係
(令和7年度第1,2学年対応)

薬学部卒業時に必要とされている資質は以下のとおりです。

＜プロフェッショナリズム＞・・・DP-1

豊かな人間性と生命の尊厳に関する深い認識をもち、薬剤師としての人の健康の維持・増進に貢献する使命感と責任感、患者・生活者の権利を尊重して利益を守る倫理観を持ち、医薬品等による健康被害(薬害、医療事故、重篤な副作用等)を発生させることがないよう最善の努力を重ね、利他的な態度で生活と命を最優先する医療・福祉・公衆衛生を実現する。

＜総合的に患者・生活者をみる姿勢＞・・・DP-1

患者・生活者の身体的、心理的、社会的背景などを把握し、全人的、総合的に捉えて、質の高い医療・福祉・公衆衛生を実現する。

＜生涯にわたって共に学ぶ姿勢＞・・・DP-5

医療・福祉・公衆衛生を担う薬剤師として、自己及び他者と共に研鑽し教えあいながら、自ら到達すべき目標を定め、生涯にわたって学び続ける。

＜科学的探究＞・・・DP-2、4

薬学的視点から、医療・福祉・公衆衛生における課題を的確に見出し、その解決に向けた科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動を適切に計画・実践し薬学の発展に貢献する。

＜専門知識に基づいた問題解決能力＞・・・DP-2、3、4

医薬品や他の化学物質の生命や環境への関わりを専門的な観点で把握し、適切な科学的判断ができるよう、薬学的知識と技能を修得し、これらを多様かつ高度な医療・福祉・公衆衛生に向けて活用する。

＜情報・科学技術を活かす能力＞・・・DP-3、4

社会における高度先端技術に関心を持ち、薬剤師としての専門性を活かし、情報・科学技術に関する倫理・法律・制度・規範を遵守して疫学、人工知能やビッグデータ等に係る技術を積極的に利活用する。

＜薬物治療の実践的能力＞・・・DP-2、3

薬物治療を主体的に計画・実施・評価し、的確な医薬品の供給、状況に応じた調剤、服薬指導、患者中心の処方提案等の薬学的管理を実践する。

＜コミュニケーション能力＞・・・DP-1、3

患者・生活者、医療者と共感的で良好なコミュニケーションをとり、的確で円滑な情報の共有、交換を通してその意思決定を支援する。

＜多職種連携能力＞・・・DP-3

多職種連携を構成する全ての人々の役割を理解し、お互いに対等な関係性を築きながら、患者・生活者中心の質の高い医療・福祉・公衆衛生を実践する。

＜社会における医療の役割の理解＞・・・DP-3

地域社会から国際社会にわたる広い視野に立ち、未病・予防、治療、予後管理・看取りまで質の高い医療・福祉・公衆衛生を担う。

